

～丹波のまちを良くするしくみ～

赤い羽根共同募金

10月1日より、全国で一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。
丹波市で集まった募金の約9割が丹波市に配分され、翌年度の福祉事業に使われます。また、残りの約1割は、県内の福祉施設等や災害準備金に活用されます。
物価高騰が続く中、ご負担をおかけしますが、みなさまの温かいご協力を
よろしくお願いいたします。



～丹波市での赤い羽根共同募金のつかいみち～

認定こども園の活動を応援



ボランティア活動を応援



地域での福祉活動を応援



学校での福祉学習を応援



発行：社会福祉法人 兵庫県共同募金会 **丹波市共同募金委員会**

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原2715 (丹波市社会福祉協議会内)

TEL 0795-86-7171 FAX 0795-86-7211



赤い羽根共同募金運動って何？

募金運動は、毎年厚生労働大臣の告示によって運動期間が定められ（10月1日から3月31日）、全国で一斉に行われます。都道府県単位で行われ、お寄せいただいた募金は、福祉施設や地域で福祉活動を行う団体の活動などに役立てられます。

また、共同募金のシンボルでもある「赤い羽根」は、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」の意味が込められており、長年共同募金のシンボルとして幅広く使われております。

募金のしくみ



共同募金は、世帯だけでなく職場や街頭など色々な場所で協力をお願いをしています。自治会を通じて世帯を対象に募金をお願いする【戸別募金】、法人や事業所などを対象に募金をお願いする【法人募金】、運動の啓発と理解を目的に街頭で募金をお願いする【街頭募金】、小中学校などの児童・生徒や教職員を対象に募金をお願いする【学校募金】などがあります。そのため運動期間中はあらゆるところで活動を見かけられるかと思います。

募金運動は、募金をお願いするだけでなく、「誰もが福祉について考え、身近なところで参加できる」ことを目的としています。地域の皆さまには、募金運動を通じて、地域の福祉に関心をもっていただき、それぞれの立場でご協力いただければ幸いです。

共同募金 赤い羽根ひょうごスローガン

助け合い 広がる つながる 赤い羽根



昨年度、ご協力いただいた募金は、 このように配分され活用されています。



昨年度募金実績額 **13,421,820円**

広域配分等からの充当額 **291,000円**



- ①福祉学習推進事業に (780,000円)
- ②認定こども園助成事業に (650,000円)
- ③ふれあい・いきいきサロン支援事業に (5,750,000円)
- ④ボランティア活動事業に (1,500,000円)
- ⑤ボランティアまつり助成事業に (400,000円)
- ⑥地域福祉推進支援事業や市内福祉団体等への助成に (3,001,000円)



～地域のつどいの場を応援～
ふれあい・いきいきサロンの様子



～子どもの学びの場を応援～
購入された絵本の読み聞かせをされている様子
(かすが森の子園)



～地域のつどいの場を応援～
ふれあい・いきいきサロン研修会の開催



～地域で活動するボランティアを育成～
ボランティア養成講座の様子

今年度は

14,187,000円 を目標として

募金協力をみなさまにお願いします



共同募金は、事業を行うために、事前に計画を立てる計画募金です。
このため、事業を行う上で必要な目標額というものを設定しています。
今年度お預かりした募金は、令和6年度に下表の事業で活用する予定になります。

活 用 目 的	配分金の活用額
市内の小中学校、高等学校、特別支援学校等が取り組む福祉学習の助成に	780,000円
市内の認定こども園の保育資材の購入費助成に	650,000円
地域で活動しているふれあい・いきいきサロン活動（助成など）に	5,750,000円
ボランティア活動事業（助成や養成講座、ボランティアまつりなど）に	1,900,000円
福祉団体への助成に	3,420,000円
県内の福祉施設・各種団体等へ	1,141,000円
丹波市共同募金委員会の事務費として	546,000円
合 計	14,187,000円

インターネットからでも募金ができます

ふるさとサポート募金(ふるサポ)では、寄付したい地域を選ぶことができたりと様々な寄付の方法があります。

詳しくは、こちらの二次元コードを読み取ってください。

